

	ドイツ		イギリス	フランス	イタリア
	旧西ドイツ	1990年に作られた旧東ドイツの5州			
国家体系	連邦制	連邦制	単一国家(連合王国)	単一国家	単一国家
地方自治体の階層構造	・ 都市州(ハンブルクとブレーメン)は1市あるいは2市で州を形成 ・ 都市州以外の州は3層制(州・郡・市町村)	・ ベルリン(東西統合後)は都市州であり、1市で州を形成 ・ ベルリン以外の5州は3層制(州・郡・市町村)	・ イングランドでは1層制と2層制(県・市町村)が混在 ・ スコットランド、ウェールズ、北アイルランドは1層制	3層制(州・県・市町村)	3層制(州・県・市町村)
広域自治体	州(Land)	州(Land)	2層制の場合は県(county)	州(region)	州(regione)
区域数	10 (旧西ベルリンを入れると11)	5 (旧東ベルリン州を入れると6)	イングランドで 34	22 (海外州を入れると26)	20
区域に関する考え方	<p>第2次世界大戦の戦勝国(英米仏(旧ソ連))の意志により国土を分割。それぞれの戦勝国が、それぞれの統治地域において州を整理・統合したもの。地域的一体性や住民の意思は反映されず。</p> <p>※1972年、旧西ドイツ憲法第29条に基づき、旧西ドイツを5〜6州に再編成する案が専門委員会から答申された。</p> <p>＜再編成案の考え方(地理学・歴史学の代表であるシェラーより)＞ 全国に「同等の生活条件」を作り、満足すべきインフラ施設を用意するため、小域州・都市州や財政基盤の弱い州や、経済的合理性や機能空間的秩序という観点に適合していない州境界、さらには州の内部地域組織などの改革が必要であるとされた。</p> <p>→石油危機やブラント・ゲンシャー 内閣の政治的理由により実現せず。</p>	<p>1945年に、中世以降に開発された辺境地域を基に、あるいは、ドイツ人の本来の居住地域(原ドイツ)を基に、5つの州に区分。</p> <p>1952年に旧ソ連により、経済的観点から14のベチルク(Bezirk)に区分。</p> <p>1990年に、ベチルクの区域だけでなく、かつての州への感情的結びつきや経済的期待等も考慮し、新しい5州に再編。</p> <p>※ 新しい5州については、急速に再設置されたため、次のような問題が指摘されている。(ルツ、森川)</p> <p>①人口規模と行政能力について、EUとの関係(EU構成国の第1次行政区画)を考えれば500万人以上の人口が必要であるが、その規模の人口を持つのはザクセン州だけであり、旧東ドイツ全域で2州案が適当。</p> <p>②住民感情と歴史文化的関係からは、別案が適当。</p> <p>③空間整備的要求(経済的・集落的構造)からは、中部ドイツ人口集積地域が分断されるので、経済的な開発施策からは不利。</p>	<p>16世紀にイングランドとウェールズ連合法が制定される。</p> <p>18世紀初頭にイングランドとスコットランドの国会が統一し、グレートブリテンとなる。</p> <p>19世紀初頭にグレートブリテンとアイルランドが統合し、連合王国が成立する。</p> <p>20世紀初頭にアイルランドが独立。ただし、北アイルランドは連合王国に残る。</p> <p>また、ブレア労働党政権下で、1999年に、スコットランド、ウェールズ及び北アイルランドでは、それぞれの地域で議会が設置され、中央政府が有する権限の一部の委譲が行われた。</p> <p>○スコットランド議会(Parliament)・・・国が留保する事項以外の権限を持つ(国が権限を留保する法律以外の分野における立法機能や域内税率変更権)</p> <p>○ウェールズ議会(Assembly)・・・限定列挙された分野について、国の法律を施行するための二次的な立法のみが許可されている。</p> <p>○北アイルランド議会(Assembly)・・・限定列挙された分野についての立法機能はあるが、その最終決定権は国に留保されている。</p> <p>※ イングランドにおける1層制の自治体としては、大都市圏に存在する「大都市圏ディストリクト」と、非大都市圏の「ユニタリー」がある。これらは、県及び市町村の機能を併せ持った自治体である。</p> <p>なお、ロンドンは、「グレーター・ロンドン・オーソリティ」と32の「ロンドン区」及び「シティ」から構成されている。</p> <p>※ イングランドでは、1990年以降のメジャー保守党政権は大都市圏以外の地域における39のカウンティと296のディストリクトからなる2層制の地方構造を、ユニタリーという1層制の地方自治体に再編していくことを目標としたが、各地方自治体の思惑や利害が絡み、作業は困難を極め、最終的には二層制の維持も選択肢として残された。</p> <p>この結果、47のユニタリーが新設され、再編前には39あったカウンティは34に、296あったディストリクトも238となった。</p> <p>※ 政府は、イングランドにおけるユニタリーの数を増加させることとしており、2006年10月の「地方自治白書」において、1層制の地方自治体であるユニタリーへの自発的再編を望む地方自治体はその旨を申請するよう呼びかけた。これにより26の地方自治体がユニタリー化を申請し、このうち9つの地方自治体が許可された。新たなユニタリーは、2009年5月にはその機能を開始できる計画となっている。</p> <p>なお、ユニタリー化を決める権限は政府にあり、新たなユニタリーを創設するにあたり次の条</p> <p>①費用面で相応であるか ②リーダーシップの強化につながるか ③地域の公共サービスの改善につながるか ④コミュニティの権限を強化するか ⑤計画が地域の幅広い支持を得ているか</p> <p>※ スコットランド及びウェールズでは、199</p>	<p>州の起源は、第2次世界大戦中のヴィシー政権が18の州を創設したことによる。レジオン(州)は複数の県を包括する広域的な行政区画。中世以来の歴史的な地方(province)という34の地域区分と重なる部分が多い。</p> <p>1982年の地方分権法で、法律でレジオン(州)を地方団体として位置づけ、住民直接公選による議会が設置される。</p> <p>1983年の権限配分法により国から地方への権限移譲・財源移転が実施される。</p> <p>2003年の憲法改正により、フランス共和国の地方分権化について憲法上明記され、レジオン(州)は憲法上の地方団体として位置づけられた。</p> <p>※1992年より、コミューン(市町村)レベルの広域行政組織制度が進展している。</p> <p>※フランスの「県」はフランス革命以降に設けられた人為的区画であり、その数は現在100(本土96、海外4)である。フランス本土の県の面積は、原則として、およそ5,700km²(愛媛県と同程度)程度を標準としており、これは役員が県庁所在地から県内各地に馬車に乗って1日で出向き、2日間のうちに往復することができる範囲になるよう機械的に区切られたためと言われている。したがって、県ごとの人口には大きな格差がある。</p> <p>※フランスの「州」については、現在、EUの構造基金(地域間の不均衡問題を処理するため、EUから地方自治体へ交付されるもの)の目的と対応するように、地域開発や職業訓練にかかる権限が拡充されている。</p>	<p>州に関する規定は第2次世界大戦後の1948年に共和国憲法に明記され、州の組織・事務に関する法律は1970年代に制定された。</p> <p>レジオーネ(州)の地域は、1861年の国家統一以前にあった王国・諸公国の領土を踏襲したもの。</p> <p>1998年バッサニーニ法により、国からレジオーネ(州)へ権限・事務、財源、公務員の移譲が実施された。</p> <p>2001年の憲法改正により、レジオーネ(州)、プロヴィンチア(県)、コムーネ(市町村)を国と相互に対等な関係にある自治体として位置づけ、補完性の原理により行政権を配分(一義的にはコムーネに帰属)。</p> <p>※イタリアの「県」についてはサルデーニャ王国時代(18〜19世紀)に起源をもつもの。</p> <p>※イタリアの「州」については、現在、EUの構造基金(地域間の不均衡問題を処理するため、EUから地方自治体へ交付されるもの)の目的と対応するように、地域開発や職業訓練にかかる権限が拡充されている。</p>
	<p>1990年東西ドイツ統一時の州改革案(11州、9州、7州の3案が提示される)の考え方(地理学者エルンストより)</p> <p>①中心地の影響圏を考慮すべきである。そのため、人口密集地域などの中核地域は州域の中心部に位置し、構造的に弱い地域に州境界を設定すること。</p> <p>②各州は、州間財政調整の縮小と地方分権制の維持のために、最低600〜800万人の人口規模を持ち、同等の経済力を持つこと。</p> <p>③古い地域境界や歴史的伝統を重んずるよりも現在の社会空間・経済空間的關係を考慮して区分すべきであること。</p> <p>→統合を急いだため州の改革は実現せず。</p>				

(出典) 「英国の地方自治」、「ドイツの地方自治」、「フランスの地方自治」、「イタリアの地方自治」・・・(財)自治体国際化協会
 「英国行政大改革と日本」・・・内貴滋 ぎょうせい
 「ドイツ市町村の地域改革と現状」・・・森川洋 古今書院、「ドイツー転機に立つ多極分散型国家ー」・・・森川洋 大明堂
 「単一国家における分権改革ーフランス、イタリア、イギリスにおける改革と財政規律ー」・・・財務省財務総合政策研究所